

下水道事業の使用料改定スケジュールの検討について

資料 1

＜前回の審議会での改定スケジュール＞

- 1 回目の改定 ・改定時期：令和 8 年 1 月（令和 7 年 6 月議会に条例案提出）  
・改定率：30%
- 2 回目の改定 ・改定時期：令和 11 年 4 月  
・改定率：経費回収率 100% になる改定（約 30%）

＜前回の審議会後の状況＞

経営に関する国の考えや今までの本市状況を基に審議会で話し合った改定スケジュールを基に財政部局と協議したところ、本市の財政について、高齢化の進行や障がい者給付の伸びによる社会保障関連経費の増大や、昨今の人件費の増大、物価高騰による経費の増大、国の制度改正や政策による地方負担の増大などにより財政状況が急激に悪化している状況です。

【小牧市の今後の財政状況】

市の財政状況の悪化が進んでおり、令和 6 年度は事業の切詰めにより基準外繰入金を抑制してきたが、令和 7 年度以降はこれまで以上に基準外繰入金を出すことは難しい状況



【下水道使用料の改定時期の変更】

下水道事業に必要な業務を計画的に進めていくためにも、使用料改定時期を早め、令和 7 年度の収入を少しでも増加させることにより市からの繰入金に左右されにくい経営を行うこととし、使用料改定スケジュールを下記のとおり変更することをお願いします。

【使用料改定時期の変更内容】

- ・ 1 回目の改定時期を「令和 8 年 1 月」から「令和 7 年 10 月」に変更します。（令和 7 年 3 月の定例会に使用料改定の条例を提出し、令和 7 年度当初予算に使用料改定による歳入増を計上します。）
- ・ 2 回目の改定時期までには少し期間があり、下水道事業、市の財政状況及び社会情勢も変化していることが考えられるため、より実情に対応できるよう具体的な改定時期を示すのではなく、「1 回目の改定から概ね 3 年後」という表記とします。

＜スケジュールの調整方法＞

- ・ 十分な審議を行っていただくため、審議回数は 4 回そのまま会議の間隔を短縮させていただきます。
- ・ 審議会の審議と並行して条例提出の事務を進めることで、答申から議案提出までの期間を短縮します。

＜スケジュールの変更前後＞

- ・ 使用料改定条例案を令和 7 年 3 月定例会に提出することで令和 7 年度の当初予算に下水道使用料の増額分を歳入として見込めることになり、その分市からの繰入金に左右されにくい経営（事業）を行うことが出来ることとなります。

年度	月	変更前	変更後
R 6	4～5 月	審議会（体系検討①）	審議会（体系検討①）5/14
	6～7 月		審議会（体系検討②）7/17 予定
	8 月	審議会（体系検討②）	審議会（体系検討③）8 月下旬
	9～10 月	審議会（体系検討③）	
	11～12 月	審議会（体系検討④・決定）	審議会（体系決定・答申）11 月
R 7	1 月	審議会（答申）	
	3 月	令和 7 年度予算案議会提出	使用料改定条例案の議会提出 令和 7 年度予算案議会提出 （改定後の収益増を見込む）
	6 月	使用料改定条例案の議会提出	
	10 月		使用料改定（約 30%）
	1 月	使用料改定（約 30%）	
R 8 年度		<div>3 年 3 カ月</div>	<div>概ね 3 年</div>
R 9 年度			
R 10 年度			
R 11	4 月	使用料改定（回収率 100%）	使用料改定（回収率 100%）